

製品名: TTN ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19409**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	TTN
別名	Titin (EC 2.7.11.1; Connectin; Rhabdomyosarcoma antigen MU-RMS-40.14)
遺伝子 ID	7273.0
SwissProt ID	Q8WZ42
免疫原	アミノ酸配列範囲 161-210 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

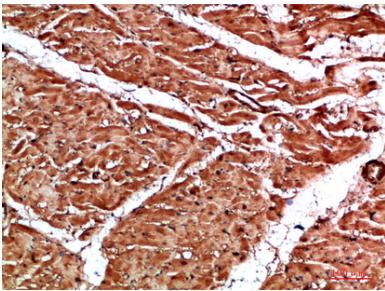
タイチンはコネクチンとも呼ばれ、横紋筋の高度に秩序立ったサルコメア（収縮単位）の組み立ての時間的および空間的制御に関与する巨大タンパク質です。サルコメアの組み立てに加え、タイチンは筋肉内の収縮する筋原線維の構造的完全性を維持し、分裂細胞

内の染色体凝縮機構を組織化する機能も持っています。タイチンは 27,000 個のアミノ酸から構成される巨大タンパク質で、自己調節型セリンキナーゼ触媒ドメインと、活性化に関するカルシウム/カルモジュリン結合領域を含んでいます。活性化タイチンは、心筋と骨格筋に豊富に含まれるサルコメアタンパク質である筋タンパク質テレソニンをリン酸化します。これは、タイチンの活動が筋原線維形成中の細胞骨格の再編成に関与していることを示しています。

研究分野

肥大型心筋症 (HCM) ; 拡張型心筋症;

画像データ



パラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された